

きらり

今回ご紹介するのは、平成28年に21歳で起業し、今年で5年目を迎える(株)細野ファームの“細野晃大さん”^{アキヒロ}です。自然豊かで清流に囲まれ透明な高軒高のガラス温室・巨大なトマト農園で「美味しさ一杯・常に旬」なトマトを皆様の食卓に、お届けします。

★キャッチフレーズ

「トマトで、少しの贅沢を」

★プロフィール

1995年3月10日生まれ。 25歳
直売所：池田町粕ヶ原

趣味：釣り 性格：前向き

好きな言葉：明日死ぬかのように生きろ、永遠に生きるかのように学べ。

★農業（起業）を始めた動機

大学時代に自分の本当にやりたい事を考えて、昔から好きだった自然と関わる仕事がしたいと思い、大学を中退し、農業の世界へ。農家のもとで働いているうちに農業・業界の現実を知る。21歳の時に細野ファームを設立。

★(株)細野ファームの“経営理念”

「農業を通して、“笑顔・好奇心・驚き”を提供し続ける」



トマト栽培をする細野晃大さん



★(株)細野ファーム“3つのこだわり”

- ①種のこだわり：様々な種類のトマトから種を厳選し、選りすぐりのトマトを栽培。
- ②技術のこだわり：コンピューターによる環境制御システムを導入し、ハウス内の光合成しやすい温度・湿度を再現し、二酸化炭素濃度等をコントロール。
- ③収穫のこだわり：専門スタッフによる厳しい目で収穫時期を見極め、糖分・養分がしっかりと実にまわった熟れたトマトを収穫。



ガラス温室の巨大なトマト農園

★これからの目標・今後の思い

トマトは手軽に食べられ、様々な料理にも取り入れやすい野菜。

そんな毎日食べられるトマトだからこそ、“少しの贅沢を…”をキャッチフレーズに、食べると心が温かくなるような、“ポンッ”と気持ち弾む様な美味しいトマトを愛情込めて育て、自分の経験を通し



- ①食べる喜びを伝える。
- ②農業を通しての地域への貢献。
- ③持続的な農業の為の働き易い職場づくり。

★商品紹介



スピカ

トマリー

スピカ：とにかく甘いプライム型フルーツ型トマト。

トマリー：皮が薄く・水分が多く・トマトの甘みと酸味がはじけて、口の中に広がります。

編集後記

WINTERコロナの状況下にも、待ちのぞんでいた秋を迎える事が出来ました。新年より目に見えないコロナに全世界が翻弄され、第一波、二・三波と猛威をふるって居ますが、マスク、手洗い、三密回避以外に打つ手無く、ワクチン、治療薬の出現が強く待ちのぞまれる今日。若し、コロナウイルスなかりせば、秋の心はのどけからましと在原業平調が口に出る今の心境です。

当然のごとく、町政の予算編成、執行等、コロナ対応を優先して取り組んでいきます。暫くは変更、飛び入り案件等々有ります。全員総意のもと一丸となって難局をのりきる覚悟です。よろしくご理解ご協力をお願い致します。

議会広報編集委員

高崎正之